

愛知医科大学病院

1. 献腎移植を行う体制

腎移植医の人数:9人(腎移植認定医:5人)、

レシピエント移植コーディネーターの人数:1人

スタッフ名簿

氏名	所属	学会認定医・専門医
小林 孝彰	腎移植外科	日本臨床腎移植学会認定医、日本移植学会移植認定医 日本外科学会専門医・指導医、日本組織適合性学会認定指導者
堀見 孔星	腎移植外科	日本臨床腎移植学会認定医、日本移植学会移植認定医 日本泌尿器科学会専門医
松岡 裕	腎移植外科	日本外科学会専門医
野畑 宏信	腎臓・リウマチ膠原病内科	日本臨床腎移植学会認定医、日本腎臓学会専門医
永井 琢人	総合腎臓病センター 小児腎臓	日本臨床腎移植学会認定医、日本移植学会移植認定医 日本小児科学会指導医、日本腎臓学会指導医
畔柳 佳幸	総合腎臓病センター 小児腎臓	日本小児科学会専門医、日本腎臓学会専門医
渡邊 恵	レシピエント移植 コーディネーター	認定レシピエント移植コーディネーター 慢性腎臓病療養指導看護師
打田 和治 (非常勤)	増子記念病院 腎移植外科	日本腎臓学会指導医
植木 常雄 (非常勤)	増子記念病院 泌尿器科部長	日本臨床腎移植学会認定医 日本泌尿器科学会指導医
友杉 俊英 (非常勤)	名古屋第二赤十字病院 移植外科	日本外科学会専門医

手術に関する体制

緊急手術:可、緊急透析:可、緊急検査:可

移植術に対する麻酔科医、透析医の参加:可

手術後の経過観察の体制

腎臓内科医の参加:有、免疫抑制剤の血中濃度測定:有

献腎移植希望登録後の体制

外来定期受診:有、説明会:有

その他のスタッフの体制

リエゾン精神科医、臨床心理士等、心理の専門家:有

レシピエント移植コーディネーター:有 組織適合性検査(HLA 検査):有

その他専門スタッフ:薬剤師、管理栄養士、ケースワーカー

2. 腎移植の成績

愛知医科大学病院における腎移植医療は、2012年4月より開始しております。2018年3月末の時点で生体腎移植158例、献腎移植1例行いました。献腎移植に関しましては2016年4月から登録を開始しております。現在のところ、生体腎移植の3年生着率は97.9%です。

3. 特色

現在の慢性腎不全患者に対する腎不全治療は90%以上で透析療法が選択されています。このアンバランスな腎不全医療を少しでも打破すべく愛知医科大学においても2012年4月より腎移植医療を開始しており、最近移植数を増加させています。当院における腎移植医療の歴史は浅いですが、その医療内容は、腎移植に精通した各領域の経験豊富な専門医による高度で且つ安全な内容であります。また移植後は生涯に渡って経過を診させていただきます。24時間365日対応で、専任コーディネーター・看護師・栄養士・医師等を中心としてきめ細やかな医療の提供を心掛けております。また、学内の研究室、検査室との連携により、個々の患者さんに最適の免疫抑制療法を実施しており、安心、安全、質の高い、希望の医療を提供致します。

4. 受診案内

初回受診方法

1)現在かかっている病院の主治医から紹介してもらう方法

腎移植外科への直接紹介の場合は、愛知医科大学病院地域医療連携室(電話 0561-65-0221, FAX0561-65-0225)に「診療情報提供書(兼)受診依頼票」を用いて診察予約をしていただきます。

2)電話での問い合わせ方法

愛知医科大学(0561-62-3311)へ電話をして、レシピエント移植コーディネーターもしくは腎移植外科医師へ直接繋いでもらって下さい。

3)FAXでの問い合わせ方法

腎移植外科直通 FAX(052-308-3874)へ貴方の連絡先と相談したい事項を書いて送信して下さい。

献腎移植登録外来

曜日	月	火	水	木	金
午前					
午後				松岡・小林	堀見・小林

病院へのアクセス

1)公共交通機関をご利用の方

地下鉄をご利用の方は、地下鉄東山線の「藤が丘駅(終点)」で下車します。藤が丘駅からは「愛知医科大学病院」行きの名鉄バス(4番のりば)をご利用ください。

名鉄瀬戸線をご利用の方は、「尾張旭駅」で下車します。尾張旭駅からは「愛知医科大学病院」行きのスクールバス(無料)をご利用ください。

基幹バス(名鉄)をご利用の方は、名古屋駅・名鉄バスセンター3階(4番のりば)から発車している「愛知医科大学病院」行きの基幹バスをご利用ください。

2)自動車をご利用の方

高速道路でお越しの方は名古屋インターチェンジもしくは本郷インターチェンジでお降りください。

愛知医科大学病院の周辺については図をご覧ください。

